

社会福祉法人 鹿児島県社会福祉事業団の概要

基本理念

一人ひとりのおもいを大切にします

私たちは、利用者や地域のみなさん一人ひとりの、それぞれのおもいを大切にしていきます

みなに笑顔届けます

私たちは、みなさんすべてに、心からの笑顔が生まれるよう努めています

地域のくらしを守ります

私たちは、地域のみなさんの、自分らしく、生きがいのあるくらしを支えていきます



施設位置	施設種別	施設名	所在地	利用定員(名)
①	法人本部	事務局	〒890-8517 鹿児島市鴨池新町1番7号 鹿児島県社会福祉センター4階 TEL099-257-7667 FAX099-259-3939 E-mail j-office@kagoshima-swc.jp	—
②	児童養護施設	仁風学園	〒891-1304 鹿児島市本町458-1 TEL099-294-2354 FAX099-294-4410 E-mail jinpu@kagoshima-swc.jp	100
③	児童養護施設	若葉学園	〒899-5411 姶良市鍋倉190番地2 TEL0995-65-4313 FAX0995-65-4609 E-mail wakaba@kagoshima-swc.jp	88
④	養護老人ホーム	慈眼寺寿光園	〒891-0146 鹿児島市慈眼寺町16番地7号 TEL099-268-2514 FAX099-267-7981 E-mail jigenji@kagoshima-swc.jp	70
—	婦人保護施設	—	—	30
⑤	保育所	同胎保育園	〒892-0819 鹿児島市柳町3番地20 TEL099-222-2654 FAX099-222-2694 E-mail douhou@kagoshima-swc.jp	150
—	地域子育て支援拠点事業	上町わくわくランド	—	—
—	放課後児童健全育成事業	同胎学童クラブ	—	—
⑥	保育所	鹿児島みなみ保育園	〒890-0068 鹿児島市東都元町18番地3 TEL099-253-3145 FAX099-253-3146 E-mail k-minami@kagoshima-swc.jp	110
⑦	地域子育て支援拠点事業	鹿児島市南部親子つどいの広場 (たにっこりん)	〒891-0117 鹿児島市西谷山1丁目3-2 TEL099-266-6501 FAX099-266-6502 E-mail tanikkorin@kagoshima-swc.jp	—
—	母子生活支援施設	—	—	20世帯
⑧	障害者支援施設	ゆすの里	〒899-2503 日置市伊集院町妙円寺1丁目1番1号 TEL099-273-4175 FAX099-273-4177 E-mail yusunosato@kagoshima-swc.jp	日中活動 80 / 施設入所 70
—	特定相談支援事業	ゆす	—	—
⑨	障害福祉サービス事業 (生活介護・自立訓練(生活訓練))	リハステーションゆす	〒892-0836 鹿児島市錦江町3番7号 TEL099-295-0415 FAX099-295-0453 E-mail rihayusu@kagoshima-swc.jp	20
⑩	障害者支援施設	川内自興園	〒895-0007 薩摩川内市百次町1110 TEL0996-22-4801 FAX0996-22-4803 E-mail sendai@kagoshima-swc.jp	日中活動 136 施設入所 100
—	障害福祉サービス事業 (共同生活援助)	川内ひまわりホーム	〒895-0007 薩摩川内市百次町1092-3 TEL0996-20-1261 E-mail sendai@kagoshima-swc.jp	30
—	特定相談支援事業 障害児相談支援事業	あおぞら	〒895-0007 薩摩川内市百次町1092-3 TEL0996-22-5006 FAX0996-22-4803 E-mail sendai@kagoshima-swc.jp	—
—	障害児通所支援事業 (放課後等デイサービス事業)	チャイルドクラブ あおぞら	〒895-0007 薩摩川内市百次町1110 TEL0996-21-1517 FAX0996-21-1518 E-mail sendai@kagoshima-swc.jp	10
⑪	障害者就業・ 生活支援センター事業	かこしま障害者就業・ 生活支援センター	〒892-0838 鹿児島市新屋敷町16番217号 県住宅供給公社ビルC棟2階217号室 TEL099-248-9461 FAX099-248-9462 E-mail kssc@kagoshima-swc.jp	—
⑫	障害者就業・ 生活支援センター事業	ほくさつ障害者就業・ 生活支援センター	〒890-0027 薩摩川内市西田町11番26号 TEL0996-29-5022 FAX0996-29-5033 E-mail hssc@kagoshima-swc.jp	—

本誌の掲載につきましては個人情報保護法に基づき本人の承認を得て掲載しています。

飛翔

HISHO

Vol.59



— 鹿児島県児童養護協議会が募集した絵画コンクール | 入選「だいすきなこ」 —

児童養護施設若葉学園 小学校1年生女の子の作品が入選しました。
156点の応募に対し入選は5点のみの難関です。
入選作品は全養協第39回児童文化奨励絵画展に展覧されました。



若葉学園の
子どもたちが遊んでいる様子

CONTENTS

【特集】仁風学園:地域小規模児童養護施設について	P02
ねっとわーく ~施設の窓から~	P04
令和2年度 新規採用職員紹介	P08
事業計画・事業報告	P10
シリーズ人・簡単レシピ 他	P14



社会福祉法人 鹿児島県社会福祉事業団
Kagoshima Social Welfare Service Corporation

〒890-8517 鹿児島市鴨池新町1番7号 鹿児島県社会福祉センター4階
TEL 099-257-7667 FAX 099-259-3939
E-mail j-office@kagoshima-swc.jp URL www.kagoshima-swc.jp



特集

児童養護施設仁風学園

地域小規模児童養護施設を開設しました

(名称:ホープ)

当園では、「鹿児島県社会福祉事業団経営計画2019」の中の施設別計画において、できる限り良好な家庭的雰囲気の中で養育と支援を充実するために、地域小規模児童養護施設の開設を目標の一つとしていました。地域小規模児童養護施設とは、地域社会の民間住宅等を活用して近隣住民との適切な関係を保持しつつ、家庭的な環境の中で養護を実施することにより、子どもの社会的自立の促進に寄与することを目的とした施設です。

開設にあたっては、施設別経営計画の担当者を中心に、先行して地域小規模児童養護施設を運営する法人を訪ね、施設の見学や運営方法について調査を行いました。その結果を踏まえ、場所の選定、子ども達の机や生活に必要な冷蔵庫等の物品の調達、子ども達の日課・食事の提供方法はどうかなど検討を重ねていき、令和2年4月1日から鹿児島市吉野地区の一軒家にて、本園から5名の男子児童(小学校低学年)が引っ越しを行い、スタッフは4名でスタートしました。

施設の名前については、法人の基本理念の一つの「一人ひとりのおおいを大切にします」の「おおい」、子ども達の将来が夢や希望に満ち溢れるものとなるよう「希望」や「願い」の意味も含まれる「ホープ(HOPE)」としました。

ホープの子ども達は当園所在地の鹿児島市本名町から吉野方面に引っ越したため、転校となったこと、新型コロナウイルス感染防止のために学校が休校となったことで学校に馴染めるか心配をしていましたが、学校の友達もでき、ホープの生活にも慣れ元気に過ごしています。

このようにホープが良いスタートをきることができたのも、地域の方々や関係各位のご協力があったからだと思います。本当にありがとうございました。これからホープの子ども達一人ひとりのおおいに耳を傾け、地域のみなさんの意見を大切に受け止めながら、職員一丸となって子ども達の支援にあたっていきたいと思っています。

ホープの開設により、厚生労働省の「新しい社会的養育ビジョン」と「鹿児島県社会的養育推進計画」が児童養護施設に求めている小規模かつ地域分散化の第一歩を踏み出しました。引き続き、法人内の児童養護施設 若葉学園と事務局、当園の三者で構成する「児童養護ワーキンググループ」において検討を重ねてきた「児童養護の将来ビジョン」に基づき、できる限り良好な家庭的環境を目指していきます。

施設外観



一階リビング



児童養護施設とは?

児童養護施設とは、保護者のいない児童(乳児を除く。ただし、安定した生活環境の確保その他の理由により特に必要のある場合には、乳児を含む。以下この条において同じ。)、虐待されている児童その他環境上養護を要する児童を入所させて、これを養護し、あわせて退所した者に対する相談その他の自立のための援助を行うことを目的とする施設(児童福祉法第41条)

地域小規模児童養護施設、ホープの一日の様子(学校がある日)

6:00~6:15 | 起床

部屋のカーテンを開け、起床の声かけを行います。眠い目をこすりながら、あちらこちらでかわいいあくびが見られます。



6:30 | 朝食

朝食準備・後片付けを職員と一緒にしています。職員の作った愛情いっぱいのご飯で元氣もりもりです。



7:15 | 登校

朝食を食べた後は歯磨き、制服に着替えて学校へ行きます。学校まで片道30分ぐらいかかります。歩くの大変だけどがんばってね。



午後 | 下校

帰ってきたら、子ども達みんな職員に「ただいま!」と今日の出来事を話してくれます。学校は楽しかったかな?



宿題

自分の勉強机で宿題に取り組みます。自分の机でピンと伸ばした背筋が美しいです。いっぱい勉強して立派な大人になって欲しいな。



自由時間(ブロック遊び)

みんなそれぞれ作りたい物を作っています。ケンカもするけど、やっぱり仲良し。みんなで楽しい時間を過ごしています。



その後は午後6時頃に夕食を済ませて、午後9時に就寝します

Interview

ホープへ引っ越しをした児童へインタビューをしてみました!

インタビューした児童の自画像



- Q 新しいお家(ホープ)は楽しいですか?
A 楽しいに決まっているよ!
- Q どういった所が楽しいですか?
A お庭があるのが良い! ボール遊びができる。
- Q 新しい学校は楽しいですか?
A 近所の人と沢山遊べるから、楽しい!
- Q これからどういったことを頑張りたいですか?
A 自分の机で勉強を頑張りたい!
- Q 新しいお家に来ましたが、新しくなにをしてみたいですか?
A 動物園に行ったり魚釣りをしてみたい!



児童養護施設 若葉学園

夜の水族館招待

鹿児島維新ライオンズクラブ創立10周年記念として、1月18日に県内の児童養護施設の子ども達を夜のかしま水族館に招待していただきました。当園からは29名の子ども達が参加し、総勢400名を超える参加でした。

昼間の水族館は、子ども達も経験はありましたが、夜の水族館はどの子ども初めての経験です。夜のお出かけということだけでも子ども



達の気持ちはウキウキワクワクの興奮状態です。そんな中での見学は、夜の魚たちの生態を知ることができ、バックヤード見学の大きなおまけ付きと、めったに経験できない貴重な体験で、どの子どももキョロキョロと視線の先があたりを動いて、興味津々でした。

表から見る黒潮大水槽で優雅な魚たちが回遊する様子を見て、その裏側ではどのように魚たちの飼育が行われているのか、水族館で働く方達の仕事にはどのような仕事があるのかをじっくり、じっくりと見学することができました。見学の中で自分の感じた疑問を職員の方に質問する子どももいました。

そんな子ども達の姿から、将来水族館で働いてみたいと思う子ども達が出てくるかもしれないと感じることでした。

鹿児島維新ライオンズクラブの皆様には、



子ども達の喜ぶ姿と一緒に喜んでくださり、また安全に見学ができるようにと見守っていただき、心温かいおもてなしをしてくださいました。このような貴重な経験の機会をくださった鹿児島維新ライオンズクラブの皆様には、心より感謝申し上げます。

●児童指導員：荒井 真琴

婦人保護施設

令和2年度新規事業の取り組みについて

本年度は、施設機能促進事業の一環として、「心の時間」という、外部の心理士によるカウンセリングを実施し、利用者の方々と支援員を対象に「心のケア」を行う取り組みを始めました。毎月第3火曜日、施設内の心理室にて実施しています。4月は新型コロナウイルスの影響もありましたが、自粛生活の続く中で、利用者の方々の心身の安定を図ることを



第一に考え、実施することにしました。心理士との面談も初めてであるため、利用者の方々の緊張もあったことと思いますが、専門性や経験から培われた技術で、利用者の方々のやり取りも上手に行われたようでした。

利用者の方々が抱えている問題や課題は一人ひとり違い、自立支援に向けての取組も各人各様で、複雑かつ困難な問題も多くあります。心のカウンセリングを行うにあたっては、利用者の方々の心身の安全と安心を提供し支援していくということが大事になります。

利用者の方々は、今後の自立した生活を築いていくうえで様々な不安があると思いますが、専門的な立場から情報を提供したり、話を傾聴したりすることで、その不安も少しずつ和らぎ、前向きに将来を捉えて下さればと考えます。



「心の時間」を通して、利用者及び支援する職員の安心感に繋がっていくことを期待しています。

これからも利用者の方々に寄り添い、長期的な視点に立った取り組みができるよう努めていきたいと思っています。

●副寮長：加藤 里美

養護老人ホーム 慈眼寺寿光園

桜を見ながらお弁当

毎年4月に、手作りのお弁当を食べながら、中庭の桜を観賞する「お花見弁当」という行事があります。利用者の皆様が楽しみにしている行事の一つですが、今年は中庭の桜がなかなか開花せず、心配していました。

現在、世界では新型コロナウイルスが大流行し、様々な感染防止対策が国内外で実施されています。当園でも感染防止対策として



様々な活動の自粛を利用者の皆様にお願ひしていますが、利用者の方々が園内で春を感じていただける行事となるように今回の行事を企画してみました。

当日が近くなると、中庭の桜も一つ一つと花が咲き始めました。しかし、満開とはいかず、もう少し桜の花を楽しみることができると、園内にある別の桜の木の一部を花瓶に生けて食堂内に飾りました。

当日は天気も良く、外の空気を吸いながら中庭で食べる席と食堂内の桜を見ながら食べる席を準備しました。いつもの雰囲気とは違う食堂や、綺麗に咲いた桜の花を見た利用者の方々の表情は、桜のように笑顔で満ち溢れていました。桜の花に囲まれた中で食べるお花見弁当は、格別に美味しく感じられたようでした。久しぶりの行事を楽しむ明るい利用者



の方々の様子を見ることができ、職員一同とても嬉しくなりました。

今後も活動が限られる中ではありますが、利用者の方々が新型コロナウイルスに感染することなく、楽しみ喜んでいただけるような行事を計画していきたいと思ひます。

●支援員：小園 昭枝

保育所 同胞保育園

異年齢児交流 フラワーアレンジメント

5月16日土曜日、園に講師の先生をお招きして、年長クラスと学童クラブの子ども達がフラワーアレンジメントを行いました。例年は、地域の子ども達や保護者の方々も参加してきましたが、今年度は新型コロナウイルスの影響を受け、参加対象を限定し規模を縮小して実施しました。

講師の先生のお話、色とりどりの綺麗な花に興味津々な子ども達。ガーベラ、カーネー



ション、スプレーカーネーション、スイートピー、マリンソウ、センニチコウ、計6種類の花の名前を、講師の先生に一輪一輪教えていただきました。様々な色や形の花があり、花によって触った時の感触が違うことも子ども達にとっては新しい発見だったようで、「これはざらざらだね」「こっちはつるつるだよ」と感触を楽しんだり、「いいにおい」と香りをかいだりしていました。「お花屋さんで見たことあるよ」「きれいだね」とワクワクしながら花を手にとっていた子ども達も、「長すぎたら倒れちゃうね」「つぼみも咲くかな」と真剣な表情で花を切り、自分で作った牛乳パックのカップに入れていきました。戸惑いながらも初めてのフラワーアレンジメントに取り組んでいました。保育園では一番お兄さんお姉さん子ども達でも、学童クラブのお兄さんお姉さん達に手伝ってもらい、分



からない事を教えてもらう様子が見られ、温かい気持ちになりました。子どもによって作品にかける時間は様々で、花の種類や数が同じでも、一人ひとりの個性が出た素敵な作品が出来上がりました。

●保育士：尾原 菜央

保育所 鹿児島みなみ保育園

「今日は英語の日?」「お絵描きの日?」と行事を楽しんでいる子ども達。行事が始まり、今年で3年目になる年長児のきりん組のアートクラブの日です。アートクラブは毎回テーマがあり、それに沿って作品を完成させます。今から何をするんだろうとキラキラした目で準備の様子を見ていました。

講師の先生が話を始めると、空の絵が描かれている作品が出てきました。子ども達は思い思いに「夕焼け」や「青空」、「少し悲しい空」、「元氣な空」



アートクラブ

という印象を口にした。上質な紙に空を描こうというテーマで始まり、子どもたちはそれぞれに好きな色と空のイメージを膨らませ、描き始めていました。今回使った画材は、オイルパステルです。オイルパステルは、伸びもよく自由なイメージが描きやすいので、多く使われている道具です。オイルパステルを横にして色を塗ったり、手で伸ばして色を付けたりと、思い思いに作品を完成させる子ども達でした。今回はベビーオイルも使って色を伸ばしやすくしたり、ベビーパウダーを使い、ぼかしを入れたりしていました。

作品が完成すると、次は子どもたち同士で、見せ合い、発表の場になりました。他児の作品を見て、色の使い方、混ぜ合い、綺麗な色を使っていたところ、青い空や虹がかかった空など想像できたところを褒め合う姿がありました。作品の良さを伝え合い、他児の作品を見て、褒めることができたことや



みんなの前で感じたことを発表できたことが大切な時間となりました。

アートクラブを通して、道具の使い方や表現の仕方を学び、どんな色の混ぜ合いをしたら何色に変わるのか、個々の発想の豊かさが育まれる貴重な行事なのだと感じることができました。きりん組は、アートクラブを楽しみにしており、表現力も豊かであることを改めて知る良い機会となりました。行事を通して子ども達の姿に成長を感じ、その思いに寄り添いながら今後も子ども達とこのような体験をしていきたいと思ひます。

●保育士：佐藤 美紀

障害者支援施設 川内自興園

コロナストレス解消!!

今年度は、利用者の方々が楽しみにしていた春まつりや旅行が中止というお知らせから始まりました。今まで当たり前でできていた外出、外泊、面会等ができなくなり、職員は、新型コロナウイルス感染症対策に追われる日々となりました。浴室や食堂での三密を防ぐため時間差での入室。初めは、利用者の方々が混乱していましたが、ようやく慣れて定着してき



たところ。各棟での日中活動では、フレンチドールームに集まることなく、グラウンドを幅広く使用しています。

活動の内容は、グラウンド周りのウォーキングやボール蹴り、バドミントン等を行い、一日一日工夫して過ごしています。動いた後は、お茶とお菓子の時間です。とても楽しみにされていますが、こちらも距離をとりながら提供するようにしており、今では声掛けをしなくても利用者自ら両手を広げ、距離をとることができるようになりました。

また、支援業務についてもどのように工夫したらより効率良く業務が遂行できるか変更や検討を重ね、お互いに声を掛け合いながら協力しています。さらに女性棟では、看護師が中心となり正しい情報を共有するため支援室に新型コロナウイルスに関する記事を集めた



ノートがあり、日々更新されています。大変な毎日ですが、利用者の方々が職員がストレスを感じることなく、前向きに過ごすことができるよう知恵を出し合っていきたいと思ひます。

●支援員：眞邊 りみ

障害者支援施設 ゆすの里

コロナなんか吹き飛ばせ!!

4月23日、晴天の中ゆすの里では、今年度初めてとなるミニレク大会を開催しました。新型コロナウイルスの影響で外出外泊を自粛していた利用者の皆さんに、少しでも日頃のストレスを和らげてもらえるよう今回のミニレク大会を開催しました。競技は、ボッチャ、スカットボール、ディスクッターの3種目を行い、合計点数を競い合いました。ミニレク大



会は年4回開催し、グラウンドゴルフ大会、ふせん巴厘ボール大会と合わせ計6回行い、大会毎に1位から5位までを表彰します。全6大会の合計点数が、最も高かった利用者の方をグラウンドチャンピオンとして表彰します。

競技中は、あちらこちらから笑い声や歓声、応援する声が聞かれ、競技に真剣に取り組まれている姿を見ることができ、普段とはまた違う、活気と笑顔に溢れているゆすの里でした。いつもは自立や施設移行に向けた訓練や生産活動に取り組まれている利用者の方々の違った一面を知ることができました。そのため、私たち職員にとっても利用者の方々に知ることができ非常に貴重な機会となりました。

現在は園外での活動が制限されていますが園内でも利用者の方々に楽しんで頂ける、思い出に残るミニレク大会や活動を考え、創



意工夫し、ゆすの里に笑顔が溢れる取り組みをしていきたいと思ひます。

●支援員：東 マリ子

障害者就業・生活支援センター事業 ほくさつ障害者就業・生活支援センター

ピアサポート活動

ピアサポートとは、同じような立場にある仲間(ピア)が体験談などを語り合い、専門職による支援では得がたい自己肯定感や安心感を得ることで、回復を目指す取り組みのことを言います。ほくさつ障害者就業・生活支援センターにおいても、求職者の方々に、ピアサポーターや就労定着している利用者の体験談を聞いていただき、就労促進を図るため「第1回ピアサポート活動」を2月15日に実施しました。



今回講師を依頼したのは、当センターの登録者で現在の職場で5年程就労されている方です。初めての試みで活動の趣旨を説明したところ、自分の経験談が求職者の方々に少しでも参考になればと快く引き受けて頂きました。その日から、担当支援員と二人三脚でパワーポイントを活用し、自分が一番伝えたいことを確認しながら資料を作成し、当日を迎えました。

当日は10名の前で発表することになりました。発表の前は緊張している様子でしたが、話を始めると自分の思いやこれまでの道のり、失敗したことや嬉しかったこと等を自分の言葉で精一杯伝えることができており、参加者の方々が講話に引き込まれていました。参加者の方々からも「就労意欲が湧いた」「自分でも就職することが出来そう」と前向きな感想をいただき、また、講師の方も一緒に作り上げた資料を皆に伝えることが出来て良かった、緊張し



たがとても良い経験になったと満足げに話をしてくださりました。

現在は、新型コロナウイルスの関係でまだ実施できておりませんが、この活動を通して就労意欲に繋がるようサポートし、一人でも多くの方々が就労に結びつくよう支援していきたいと思ひます。

●主任支援員：濱川 翔吾

令和2年度 新規採用職員紹介

①氏名 ②勤務先・職名 ③特技・趣味 ④自己アピール・抱負



Furukawa
Tamotsu

- ① 古川 保 (ふるかわ たもつ)
- ② 事務局・常務理事兼事務局長
- ③ 読書、釣り
- ④ この3月に県庁を定年退職しました。肝付福祉事務所と始良保健所に勤務した当時に事業団の施設を見学させてもらいました。微力ではありますがよろしくお願いします。



Takeno
Chisato

- ① 竹野 千聖 (たけの ちさと)
- ② 仁風学園・児童指導員
- ③ 運動してリフレッシュすること
- ④ 笑顔で前向きに、子ども達の気持ちに寄り添っていけるよう頑張ります。よろしくお願いします。



Matsubayashi
Ayami

- ① 松林 礼実 (まつばやし あやみ)
- ② 鹿児島みなみ保育園・保育士
- ③ 野外活動・音楽鑑賞
- ④ 子ども達と一緒に笑いながら、共に成長していきたいと思っています。よろしくお願いします。



Matsuda
Minami

- ① 松田 みなみ (まつだ みなみ)
- ② 鹿児島みなみ保育園・保育士
- ③ ギター・よさこい
- ④ 持ち前の明るさと笑顔で子ども達の成長を支え、子ども達と一緒に成長していけるようにがんばります。自分の良さを生かしながら、日々の業務に励んでいきます。よろしくお願い致します。



Iida
Tomoya

- ① 飯田 智哉 (いいた ともや)
- ② 若葉学園・児童指導員
- ③ 映画鑑賞
- ④ 事業団職員として色々な人から信頼されるような職員を目指したいと思います。



Koike
Yukiko

- ① 小池 由起子 (こいけ ゆきこ)
- ② 慈眼寺寿光園・支援員
- ③ 掃除・昔はギター
- ④ 先輩職員の皆様のやさしさに感謝の気持ちでいっぱいです。利用者の方々や鹿児島県社会福祉事業団の職員としてお役にたてる人材になれるように頑張ります。ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。



Yamamoto
Norihiro

- ① 山元 教広 (やまもと のりひろ)
- ② 川内自興園・支援員
- ③ バイク・ツーリング
- ④ 障害者の分野は初めての経験ですのでご迷惑お掛けしますがよろしくお願いいたします。



Okamoto
Masaki

- ① 岡元 昌樹 (おかもと まさき)
- ② 川内自興園・支援員
- ③ バドミントン・音楽鑑賞
- ④ 利用者の方々を笑顔にできるように頑張ります。



Tominaga
Katsushi

- ① 冨永 勝志 (とみなが かつし)
- ② 慈眼寺寿光園・支援員
- ③ トレッキング・お菓子作り
- ④ 鹿児島県社会福祉事業団の基本理念にあるように利用者の方々一人ひとりを笑顔に出来るような職員を目指して頑張りたいです。



Matsunaga
Haruka

- ① 松永 春香 (まつなが はるか)
- ② 同胞保育園・保育士
- ③ 料理・映画鑑賞
- ④ 私の強みは、どんなことでもあきらめず最後までやり遂げることです。難しい事でも、周りの職員に教えて頂きながら保育に向き合います。これからは、社会福祉事業団の一員として責任ある行動を行い、業務に努めていきたいと思っています。また、福祉に関する専門的知識・技術を高めていけるように温かな支援をしていきたいと思っています。



Saitou
Mika

- ① 齊藤 美佳 (さいとう みか)
- ② ほくさつ障害者就業・生活支援センター・支援員
- ③ アナウンス業務・美味しい時間(食育のこと)(店内・野球・場内・式典)
- ④ 私は前向きな性格です。そして私のモットーは、“人生は一度きりであり、明日で終わるかのように生き、永遠に生きるかのように学ぶこと”。皆様との出会いを大切に悔いのない一日を頑張ります。

新任職員研修 (令和2年4月14日)



- 内容
1. 理事長講話
 2. 事業団の概要・服務規律・諸規則等について
 3. (株)九州経済研究所による研修
 - ① 社会人としての心構え ② 仕事の覚え方 ③ ビジネスマナーの基本
 - ④ 電話応対の基本 ⑤ 来客応対の基本

令和2年度 事業計画

I 基本方針

我が国の経済は緩やかな回復基調が続いてきたが、新型コロナウイルス感染症の流行に伴い、経済活動面に直接・間接的な影響が生じてきており、景況感は急速に厳しい状況となっている。

また、県内の景況についても、国内外の同感染症の拡大により、県民生活や県内経済へ大きな影響が及んでおり、県では国の緊急対策とも連動しながら、各般の対策を迅速に切れ目なく展開していくとされている。

社会福祉を取り巻く環境については、社会福祉法人の経営組織のガバナンス強化や事業運営の透明性の向上、財務規律の強化など、これまで以上に公益性の高い法人運営が求められている一方で、雇用状況の改善に伴い介護・福祉分野における人材確保は引き続き困難な状況が続いている。

このような中、当事業団においては令和元年度から3年度までの3か年を計画期間とする「鹿児島県社会福祉事業団経営計画2019」（以下「経営計画」という。）を策定し、安定的かつ持続的な施設運営のための経営基盤の強化を図ることにより、四者満足（利用者満足・地域満足・職員満足・経営満足）を実現し、公益性と経済性のバランスのとれた法人経営を目指すこととしている。

令和2年度については、本計画の2年目として、鹿児島県社会福祉事業団基本理念（以下「事業団基本理念」という。）や経営理念の実現を目指すという基本的方向のもと、事業団を取り巻く環境や課題を踏まえ、4つの柱からなる経営方針に沿って掲げた推進目標に向けて、職員一丸となって取り組む。

1. 質の高いサービスの提供

すべての職員が事業団基本理念に基づき同じ視点に立ち、利用者一人ひとりの人権を尊重し、個人の尊厳に配慮したきめの細やかなサービスと安全・安心な生活環境、利用環境を提供するため、保育所、婦人保護施設、母子生活支援施設において第三者評価を受審するほか、リスクマネジメント体制の強化を図る。また、仁風学園において、家庭的な環境の中で入所児童の社会的自立を促進することを目的として、地域小規模児童養護施設を開設する。

2. 地域福祉の推進

地域共生社会の実現に寄与するため、新たな自主事業の取組や地域における公益的な取組を推進するほか、地域に向けた積極的な情報発信に取り組むなど、地域の多様な福祉ニーズに対応した事業を展開する。

3. 経営基盤の強化

安定的かつ持続的なサービスを提供することができるよう、経営基盤の強化を図るとともに、公正かつ透明性の高い法人運営に努めるため、ガバナンス・財務規律の強化を図る。また、コンプライアンスの徹底を推進し、信頼性の高い法人経営を目指す。

4. 人材の育成

総合的な人材育成計画に基づき、職員がやりがいと希望を持って働ける魅力ある職場づくりを実現するため、キャリアパス制度や勤務評価制度、教育研修制度の円滑な運用定着を図る。また、人材の確保に向けて様々な雇用形態や採用ツールの活用策について検討するとともに、職員の専門性の向上に向けて資格取得支援の充実を図る。

令和元年度 事業報告

I 基本方針

我が国の令和元年度の経済は、雇用・所得環境の改善が続かなかつて緩やかな回復基調にあり、県内景況についても緩やかな回復が続いてきたが、令和2年2月頃からの新型コロナウイルス感染症の拡大により、県民生活や経済への影響が及び、県内・県内の景気は厳しい状況となってきた。

社会福祉を取り巻く環境については、平成28年の社会福祉法の改正に伴い、福祉サービスの供給体制の整備及びその充実を図るため、社会福祉法人の経営組織の見直しや事業運営の透明性の確保などを行うこととされている一方で、福祉分野における人材確保は引き続き困難な状況が続く、県内においても人材不足の厳しい状況が続いた。

このような中、当事業団においては令和元年度から3年度までの3か年を計画期間とする「鹿児島県社会福祉事業団経営計画2019」を昨年3月に策定し、法人の基本理念や経営理念を踏まえながら、安定的かつ持続的な施設運営のための経営基盤の強化を図ることにより、「利用者満足」「地域満足」「職員満足」「経営満足」の四者満足を実現し、公益性と経済性のバランスのとれた法人経営を目指すこととした。

そのため、令和元年度は計画の初年度として、計画の推進体制を新たに構築するとともに、計画に示している経営方針に沿って掲げた以下の4つの柱からなる推進目標に向けて、職員一丸となって各般の事業実施に取り組み、地域における社会福祉事業等の担い手として、より水準の高い事業経営に努めた。

1. 質の高い福祉サービスの提供

利用者一人ひとりの人権を尊重し、個人の尊厳に配慮した質の高いサービスを提供するため、職員の人権意識の醸成を図るとともに、第三者評価の受審や施設内サービス評価を推進した。また、児童養護施設の将来ビジョンや障害福祉サービスの充実に向けた検討を進めるとともに、利用者の安全・安心を確保するためのリスクマネジメント体制の強化を図った。

2. 地域福祉の推進

地域共生社会の実現に寄与するため、地域における公益的な取組の推進を図るとともに、事業団が持つ様々な分野の専門性を生かし、地域に必要とされ貢献できる新規事業の検討を行った。また、事業団の理念や活動状況等を積極的に情報発信するとともに、地域交流を実施する等、地域住民等からより一層の信頼を得ることができるよう取組を推進した。

3. 経営基盤の強化

安定的かつ持続的なサービスを提供することができるよう経営基盤を強化するため、四半期ごとに経営計画推進会議を開催し、経営状況の分析、増収策の検討を行った。

ガバナンスや財務規律の強化を図るために、内部監査や外部監査等を実施した。

また、職員一人ひとりが高い倫理性を持って職務の遂行ができるよう、コンプライアンスの徹底を図るとともに、職場内のハラスメント防止の強化に努めた。

4. 人材の育成

職員がやりがいと希望を持って働ける魅力ある施設づくりを目指し、総合的な人材育成計画に基づき、新たにキャリアパス制度、勤務評価制度、教育研修制度の構築を図るとともに、働き方改革を踏まえた給与・休暇等の見直しを行った。また、効果的な広報媒体やツールを活用した人材確保の取組を強化するとともに、資格取得支援の充実や実務研究論文等の作成・発表を推進するなど職員の専門性の向上に努めた。

決算報告

資金収支計算書

令和2年3月31日現在 (単位:円)

勘定科目	予算	決算	差異
事業活動による収支			
事業活動収入計	2,058,431,000	2,034,923,698	23,507,302
事業活動支出計	1,994,120,000	1,888,963,841	105,156,159
事業活動資金収支差額	64,311,000	145,959,857	△ 81,648,857
施設整備等による収支			
施設整備等収入計	7,000	6,936	64
施設整備等支出計	18,561,000	17,903,484	657,516
施設整備等資金収支差額	△ 18,554,000	△ 17,896,548	△ 657,452
その他の活動による収支			
その他の活動収入計	26,360,000	17,524,851	8,835,149
その他の活動支出計	116,627,000	116,462,540	164,460
その他の活動資金収支差額	△ 90,267,000	△ 98,937,689	8,670,689
予備費支出	5,914,000	0	5,914,000
当期資金収支差額合計	△ 50,424,000	29,125,620	△ 79,549,620
前期末支払資金残高	478,265,000	478,265,632	△ 632
当期末支払資金残高	427,841,000	507,391,252	△ 79,550,252

事業活動計算書

令和2年3月31日現在 (単位:円)

勘定科目	当年度決算	前年度決算	差異
サービス活動増減の部			
サービス活動収益計	2,009,088,619	1,963,888,030	45,200,589
サービス活動費用計	1,984,645,649	1,959,524,074	25,121,575
サービス活動増減差額	24,442,970	4,363,956	20,079,014
サービス活動外増減の部			
サービス活動外収益計	25,835,079	24,954,982	880,097
サービス活動外費用計	799,356	544,151	255,205
サービス活動外増減差額	25,035,723	24,410,831	624,892
経常増減差額	49,478,693	28,774,787	20,703,906
特別増減の部			
特別収益計	6,936	54,750,000	△ 54,743,064
特別費用計	24	58,090,456	△ 58,090,432
特別増減差額計	6,912	△ 3,340,456	3,347,368
当期活動増減差額	49,485,605	25,434,331	24,051,274
繰越活動増減差額の部			
前期繰越活動増減差額	1,264,863,983	1,237,035,652	27,828,331
当期末繰越活動増減差額	1,314,349,588	1,262,469,983	51,879,605
その他の積立金取崩額	6,930,000	69,394,000	△ 62,464,000
その他の積立金積立額	90,500,000	67,000,000	23,500,000
次期繰越活動増減差額	1,230,779,588	1,264,863,983	△ 34,084,395

貸借対照表

令和2年3月31日現在 (単位:円)

資産の部				負債の部			
勘定科目	当年度末	前年度末	増減	勘定科目	当年度末	前年度末	増減
流動資産	642,536,060	722,042,671	△ 79,506,611	流動負債	195,674,310	300,777,052	△ 105,102,742
固定資産	4,038,044,054	4,111,737,393	△ 73,693,339	固定負債	265,190,033	264,933,250	256,783
基本財産	3,315,435,692	3,457,546,816	△ 142,111,124	負債の部合計	460,864,343	565,710,302	△ 104,845,959
その他の固定資産	722,608,362	654,190,577	68,417,785	純資産の部			
資産の部合計	4,680,580,114	4,833,780,064	△ 153,199,950	基本金	531,752,699	531,752,699	0
				国庫補助金等特別積立金	2,125,031,484	2,222,871,080	△ 97,839,596
				その他の積立金	332,152,000	248,582,000	83,570,000
				次期繰越活動増減差額	1,230,779,588	1,264,863,983	△ 34,084,395
				純資産の部合計	4,219,715,771	4,268,069,762	△ 48,353,991
				負債及び純資産の部合計	4,680,580,114	4,833,780,064	△ 153,199,950

財産目録

令和2年3月31日現在 (単位:円)

資産・負債の内訳	
I 資産の部	
流動資産	686,230,279
固定資産	4,038,044,054
資産の部合計	4,724,274,333
II 負債の部	
流動負債	239,368,529
固定負債	265,190,033
負債の部合計	504,558,562
差引純資産	4,219,715,771

苦情解決の対応状況

令和元年度に受け付けた当事業団苦情対応規程に基づく苦情の件数は、事業団全体で30件でした。

施設種別	苦情件数	苦情申出人				苦情種別内訳					
		利用者	家族	代理人	その他	職員の接遇	サービスの質	利用料	説明・情報提供	被害・損害	権利侵害
児童養護施設	1		1			1					
養護老人ホーム	4	4				3	1				
婦人保護施設											
保育所	6	5			1	3	1				2
地域子育て支援拠点事業	1	1				1					
母子生活支援施設	8	6			2	1	1		2		4
障害者支援施設	6	3	3			2	2				2
障害福祉サービス事業	4	2			2	4					
合計	30	21	4		5	15	5		2		8

寄せられた苦情に対しては、「相談苦情対応マニュアル」に従い迅速かつ適切に対応し解決しています。
今後も利用者・関係者の皆様からの声(相談・苦情)を大切に受け止めサービスの向上に努めていきます。

役員名簿

令和2年7月1日現在

役員名	氏名	現職名等	当初就任年月日
理事長	森 秀樹		H28.4.1
常務理事	古川 保	(事務局長兼務)	R2.4.1
理事	松田 典久	元 鹿児島県保健福祉部長	R2.4.1
〃	西井上 誠	鹿児島県社会福祉協議会常務理事	H29.6.22
〃	渡邊 正人	鹿児島県民生委員児童委員協議会会長	R2.4.1
〃	田中 正幸	前 鹿児島県共同募金会常務理事兼事務局長	H29.4.1
〃	徳永 千早	若葉学園長	H29.4.1
監事	池田 利博	元 仁風学園長	H25.4.1
〃	臼井 英雅	前 若葉学園長	H30.12.14

役員任期:令和元年6月25日から令和3年度の定時評議員会の終結の時まで

評議員名簿

令和2年7月1日現在

役員名	氏名	現職名等	当初就任年月日
評議員	内門 公孝	前 鹿児島県社会福祉協議会常務理事	R2.4.1
〃	古蘭 宏明	日本赤十字社鹿児島県支部事務局長	R2.4.1
〃	鬼丸 憲夫	鹿児島県民生委員児童委員協議会副会長	R2.4.1
〃	堀脇 健一郎	鹿児島県身体障害者福祉協会常務理事兼事務局長	H31.4.1
〃	洲崎 弘美	鹿児島県手をつなぐ育成会常務理事兼事務局長	H30.4.1
〃	清元 良明	鹿児島県老人クラブ連合会常務理事兼事務局長	H30.6.7
〃	清藤 修	鹿児島県くらし保健福祉部次長	R2.4.1
〃	木場 誠一	鹿児島県くらし保健福祉部参事(子育て・高齢者支援担当)	R2.4.1

評議員任期:平成29年4月1日から令和3年度の定時評議員会の終結の時まで

シリーズ Person ひと



同僚保育士 主査保育士
益 美詠

①事業団に勤務されて一番印象に残っていることは何ですか？

今から28年前、事業団に入職して初めての職場が仁風学園でした。5月に母の日の行事があり、緊張しながら皆さんの前で挨拶をしました。その日一日、子ども達と男性職員が保育（保育士）や調理師の代わりに洗濯や食事作りなどをしてくれました。

大変な思いをしている子ども達ですが、ここまでしてくれて本当に嬉しく、とても心が温まる一日となったことを今でも懐かしき思い出です。

②今、一番興味のあることは何ですか？

「健康」についてです。
年齢を重ねる毎に体力が心配になってきました。今の仕事は体力勝負だと思うので、スクワットをしたり、骨盤を整えたり、サプリメントを飲んで、健康には十分気を付けています。

③休日の過ごし方を教えてください。

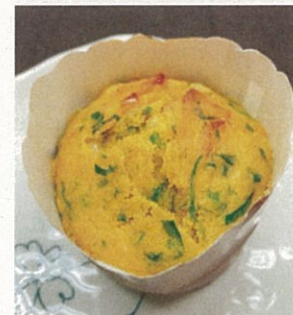
休みの度に実家へ行き、通院、身の回りの世話、買い物など高齢の父親の介護をしています。親孝行ができるのも今しかないと思っています。また、時間を見つけては大好きなコーヒーを飲んだり、本屋に立ち寄り、季節の花々を見たりしています。

④座右の銘は何ですか？

「感謝」です。
このような世の中になり、当たり前のことができなくなっているのに、今、できていることにありがたい気持ちを込めて日々「感謝」して過ごしていきたいです。

⑤事業団に勤務している後輩へメッセージをお願いします。

事業団に入職した時の気持ちを忘れずに、目標に向かって精一杯努力して下さい。また、先輩方の良いところを見つけて自分のものにして下さい。そして、一日の終わりにはその日にあったよい出来事を思い浮かべながら眠ると少しでもストレスの軽減になるかと思っています。



～ 免疫力を高める食材を使った（親子で作れる）簡単おやつ ～

かぼちゃとほうれん草の カップケーキ

Recipe!

作り方

- ①：ほうれん草は電子レンジなどで加熱して刻みます。
かぼちゃは種と皮を取り、電子レンジなどで加熱し、潰します。
オーブンを180℃に予熱します。
- ②：ホットケーキミックスと割りほぐしたたまご、甘酒、砂糖を混ぜ合わせます。
- ③：②に①とチーズを入れて混ぜ合わせます。カップに6～8分目まで入れます。
- ④：オーブンで20分から25分焼きます。

- 鹿児島みなみ保育園のおやつレシピ「ボバパイ蒸しパン」をアレンジしました。
- かぼちゃの甘さによって砂糖の量を調整してください。
- 甘酒を豆乳や牛乳に替えたり、ほうれん草を小松菜に替えたりしてもおいしく頂けます。

●鹿児島みなみ保育園 栄養士 遠矢歩美 ●仁風学園 栄養士 松永美鈴

ちょっと気になるニュース

新しいビニールハウスを建てました！

川内自興園就労継続支援B型事業所の花卉生産作業用として、令和2年3月にビニールハウス一棟を新たに建築しました。長さ約20メートル、幅約6メートル、高さ約3メートルと、園内でもひととき大きいハウスです。これにより、作業効率が向上するとともに、新たに約8000鉢の花苗を育成・管理することが可能になりました。今回の設備整備を活かして収益アップにつなげ、利用者の工賃向上を目指すとともに、地域の皆様によりよい花苗を提供できるよう、心をこめて育てていきたいです。



職員提案結果発表

業務の活性化と施設のサービス向上を目的に職員提案の募集を行いました。令和元年度第1期は1つの提案が審査され、今回は惜しくも入選以上には届きませんでしたが、貴重な提案をいただきました。ありがとうございます。

●退職者人材バンク制度（仮称）の創設について

令和2年度も次の期間で募集を行います。今後も業務の活性化と施設のサービス向上のためたくさんのご応募お待ちしております！

第1期募集：6月1日～8月31日 第2期募集：10月1日～12月28日

鹿児島DCAT(災害派遣福祉チーム)を 結成しました！

鹿児島DCATとは、大規模災害発生時に被災地の市町村からの要請に基づき、一般避難所で災害時要配慮者に対する支援を行う福祉チームのことで、社会福祉士、介護福祉士、精神保健福祉士、介護支援専門員、保育士、ホームヘルパーなどの資格を持った複数の職種で構成されます。当事業団でもチームを結成し、今後要請に基づいて活動していきます！！

活動内容 ●福祉避難所への誘導 ●要配慮者へのアセスメント
●日常生活上の支援 等

チーム編成 隊長：野口 純仁(川内自興園) 副隊長：張山 育子(事務局)
隊員：横山 勉(事務局) 上野 善幸(仁風学園) 佐藤 真也(仁風学園) 上原 由美(鹿児島みなみ保育園) 長野 宏子(鹿児島みなみ保育園) 井上 真理子(ゆすの里) 風連りみ(川内自興園)

令和2年1月14日に福岡で行われた「災害福祉支援ネットワーク構築・運営リーダー養成研修」に隊長、副隊長が参加しました。

お疲れ様でした！

令和元年 12月31日付け 退職	施設名	職名	氏名	
	慈眼寺寿光園	主任支援員	吉留 文香	中央

令和2年 3月31日付け 退職	施設名	職名	氏名	
	事務局	常務理事兼事務局長	生見 博志	左から2番目
	仁風学園	園長	原田 良範	右から2番目
	仁風学園	児童指導課長	坂元 直子	右
	慈眼寺寿光園	生活相談員	田中 美千代	2列目右
	婦人保護施設	主査支援員	川邊 美香	左
	鹿児島みなみ保育園	保育士	橋元 しおり	2列目左
	母子生活支援施設	副寮長	姫ヶ迫 美智代	



編集後記

昨年度から新型コロナウイルスが世界各地で大流行し、県内においても感染者が発生しました。職員の皆様におきましては、各施設で感染症対策の実施等、日頃の支援に加えた対策をしていただき、ありがとうございます。今回の「ねとわーく」からも感染症対策をしながらも、利用者の方々の生活を少しでも良くしたいという工夫や、思いが感じられました。

少しでも皆様の気持ちが明るくなるような機関誌が発行できるよう、編集委員一同努めて参りたいと思いますので、よろしくお願いいたします。